

スポーツ指導者の資質能力向上の ための具体的方策について

資質能力向上の対象

- 小学生までの子どもの競技スポーツ指導者

将来への波及効果をねらう。

スポーツ医・科学に立脚した指導者

自然環境
人工環境
社会環境

指導環境

影響を及ぼすもの

選手

$$P = C \int E(M)$$

変えられるもの

時間

発達

目標と計画性

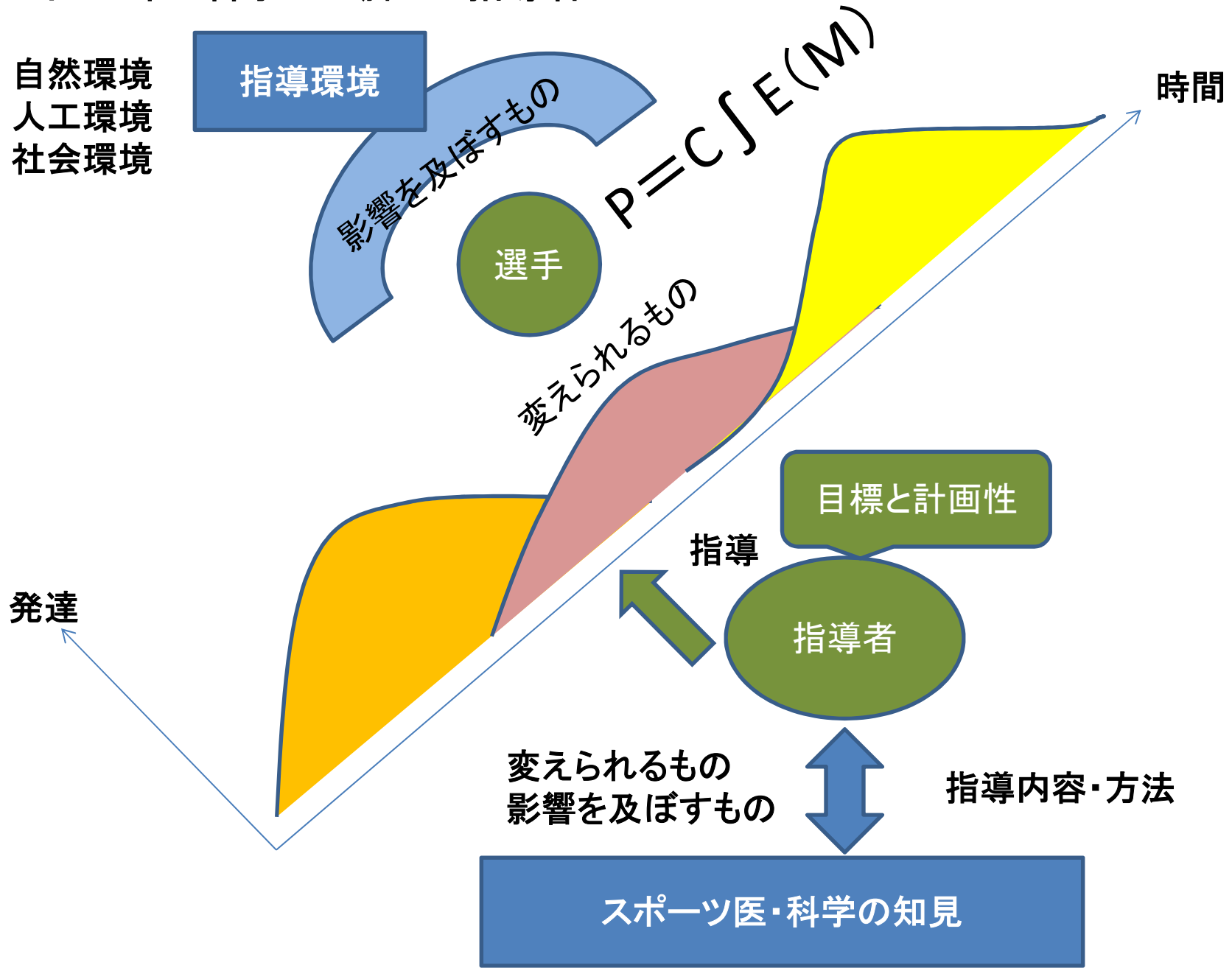
指導

指導者

変えられるもの
影響を及ぼすもの

指導内容・方法

スポーツ医・科学の知見



新しい時代の指導者に求められる資質能力

- 指導内容・方法(コーチング学のエッセンス)
- 子どもの心身の「変わりゆくもの」(発育発達)と「変えられるもの」(発達可能性)
- そのスポーツにとっての心身のあるべき姿(目標)
- 運動の成果に影響を及ぼす指導環境

を理解して指導する能力が求められる。

長期的視点に立った指導者の顕彰の在り方

- 子どもの指導においては、「成績」ではなく、「目標と計画性」を評価する。

とはいえ、「成績」で評価される環境をすぐには変えられないし、誰がどのように「目的と計画性」を評価するかと考えると、具体的方策は難しい。

アメリカの資質能力向上の取り組み

“COACHING YOUTH BASEBALL”

American Sport Education Program;

officially endorsed by USA Baseball.-2nd ed.

Human Kinetics, 1996

コーチとしての4つの責任

1. 楽しめるプレイにする
2. 安全なプレイにする
3. 障がいをもつ子どもにも機会を与える
4. 基本的な技術を教える

相談先を明示している

コーチとして必要なツール

- C Comprehension(理解)
- O Outlook(展望)
- A Affection(愛情)
- C Character(人柄)
- H Humor(ユーモア)

自己採点させている

子どもとのコミュニケーション

- 効果的なメッセージの送りかた
- メッセージ受け取りの改善のしかた
- フィードバックと効果の調べかた
- 周囲の人とのコミュニケーション

チェックリストを用意している

どのように技術を指導するか？

- I Introduce the skill.(紹介する)
- D Demonstrate the skill.(模範を見せる)
- E Explain the skill.(説明する)
- A Attend to players practicing the skill.
(練習したくなるようにする)

安全について

- シーズン前の健診 同意書
- 栄養
- 体調
- 用具・施設の検査
- 成熟度別練習 内在するリスクの警告
- 適切な監視と記録
- 水分補給
- ウォームアップとクールダウン

救急法も例示している

全体としての種目の理解

- P Prepare to teach proper fundamental skill development. (基本技術を適切に伸ばす指導を用意する)
- A Always instill good sportsmanship and respect for the rules.
(常にスポーツマンシップを植え付け、ルールを尊重する)
- R Repeat instructions as a key to good teaching. (良い指導となるように指示を繰り返す)
- K Keep it fun! (楽しいものに！)

技術指導のドリル

- 誤りの発見と修正
- すべきこと、すべきではないこと

チームプレイ

- 戦術のためのドリル

<付録>

- 障がいをもつ子どもの指導についての連絡先
- 初心者のシーズン練習計画例

<要約>

- 楽しさ、安全、コミュニケーションなど
指導のエッセンスを明確にしている
- 語呂合わせ、セルフチェック、対比表など
印象付けられて、わかりやすい
- 相談先の明示、機会均等、周囲への配慮、
ドリルの提示など視野を広め、クローズド
な環境にしていない

資質能力向上の具体的方策

能力を向上させるために与えられる資格 ⇔ 能力があれば与えられる資格
(教員免許、運転免許)

ステータスが指導者を育むと考えると、初めから資格 (ID) を与える **矜持**
エッセンスをわかりやすく記したパンフを同封する (議員バッジ) **開示**

